

| 学校経営方針(中期経営目標)   |              | 前年度の成果と課題  |  | 本年度学校経営の重点 (短期経営目標)   |   |
|--|--------------|--|--|---|---|
| 弥栄学園教育目標<br>「ふるさとを愛し、主体的に学び、心豊かで、自他を大切にしてくましく生き抜く子どもの育成」<br>めざす生徒像<br>《知》 知識と技を磨き、活用する生徒<br>《徳》 自他の良さを知り、共に伸びる生徒<br>《体》 心身をきたえ、何事もやり抜く生徒 |              | ○「めざす生徒像」の実現に向け、キーワードを設け教育活動を位置づけ一貫した教育活動の推進に努めた。<br>○講師を招いた校内研修や外部講師による授業、各種学力検査分析等から、育成したい力を明確にし、授業改善に対する意欲が高まった。<br>△「生活と学びの主体者を生徒」とした教育活動を一層推進するとともに、生徒一人ひとりが自立した学び手として学び続けることができるよう「自己調整力」の育成に努める必要がある。 |  | ・一人ひとりが学びの創り手としての成長を実感しあえる学校 <b>【自立】</b><br>・一人ひとりのよさを大切にしたい思いやりあふれる誰にも優しい学校 <b>【尊重】</b><br>・一人一人の「やってみよう」の気持ちを引き出す学校 <b>【挑戦】</b><br>・保護者・地域に信頼される学校  |   |
| 評価項目   | 重点目標         | 具体的方策  | 成果と課題 (自己評価)   | 学校関係者評価   |   |
| 学校教育指導の重点<br>保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤として   | 教育課程<br>学習指導 | ・「自己成長につながる10の姿」を授業づくり、家庭学習に位置づけ認知能力と非認知能力の一体的な育成を推進する。<br>・「探究的な学び」を手法として「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を学校全体で進める。<br>・生徒の学びを深める授業と家庭学習の連動をより一層推進するために、情報端末を効果的に活用し、協働的な学びと個別最適な学びの両面に取り組む。                       | ○「自己成長につながる10の姿」を教育活動全体に位置づけ、生徒がつけたい力を自己決定し振り返り、次の方略を考えるサイクルを大切に取り組んだ。生徒アンケートでは自己調整に係る項目が上昇(5月比)した。<br>○△外部講師を招聘した研修及び研究授業を行い、授業改善に努めた。生徒アンケートの課題解決意欲に係る項目の上昇(5月比)は見られるが、更に「主体的対話的で深い学び」に迫る授業改善をすすめる。<br>△授業と連動した家庭学習につながる取組を一層推進する。 | ・落ち着いた学習に取り組んでいる様子は評価できる。<br>・社会に出て役立つ力、社会的自立のために付けておいた方がよい力を積み重ねていくことを期待する。<br>・ICTを活用した家庭学習において、アプリの種類や使用方法などを保護者が理解することで更にすすむのではないかな。  |   |
|  | 生徒指導         | ・発達支持的生徒指導の推進<br>・いじめ、不登校の未然防止のための校内組織の構築と丁寧な対応  | ・生徒が主体となる活動を通して共感的な人間関係の構築に努め、自他ともに大切にしよう安心できる「居場所づくり」に努める。<br>・生徒指導部会・教育相談部会、いじめ防止組織を実行化し、個・集団の丁寧なアセスメントを通して、いじめにつながる事象や不登校の未然防止、早期発見・迅速・丁寧な対応のための校内体制を構築する。  | ○「心理的安全性」に関する項目について、安心感があると約90%の生徒が肯定的に評価している。<br>○96%の生徒が学校生活の中で、「協力してやりとげうれしかったことがある」と達成感を感じている。<br>○「脱いじめ傍観者教育含む出前講座」の学年ごとの受講が、いじめの構造についての理解や未然防止の当事者意識を高めることにつながった。<br>△不登校(傾向)生徒に対して、丁寧なアセスメントを行うとともに、生徒・保護者の思いに寄り添った支援の充実を図る。 | ・安定した人間関係の中穏やかに過ごしていることは評価できる。卒業後大きな集団に入っても自分らしく思っていることを伝える力を発揮させることを期待したい。<br>・不登校生徒・保護者への多様な支援の充実とその支援の周知をお願いしたい。 |

|               |  |   |  |  |
|---------------|--|---|--|--|
| 健康・安全         | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康・安全教育の充実</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健分野（薬物、性、感染症予防等）及び安全分野（生活安全・交通安全・災害安全）の指導の充実を図る。</li> <li>避難訓練・非行防止教室・情報モラル講習会・救命救急講習等の自他の命を守る行動を考える機会を通して危機回避能力を育成する。</li> <li>防犯に関する指導及び災害等に対する防災教育の充実を図る。</li> </ul> | <p>○計画的に、健康安全や保健に関する指導を行い、その中で外部講師による講話や体験等を通してより正しい知識の習得と危機対応能力の育成に努めた。</p> <p>△熊等の獣害についての対応を盛り込む等危機管理マニュアルの見直しを図る。</p> <p>△情報機器についてスキルとともにネットリテラシーを高める必要がある。</p>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>外部の専門家の話を聞き学習することはよい経験となる。今後も継続してほしい。</li> <li>ネットについては心配な状況がある。視力低下など健康面にも留意が必要ではないか。</li> </ul>   |
| 特別支援教育        | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内の支援体制と教育環境の充実</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧なアセスメントのもと教育的ニーズに応じた支援内容を検討し、保護者・生徒と目標を共有しながら支援の工夫改善を図る校内組織体制の充実を図る。</li> <li>「特別支援教育充実事業」を活用し、通常学級に在籍をする生徒の実態に応じた個別の支援及び弾力的な学びの場の検討に係る実践を積み重ねる。</li> </ul>            | <p>○「特別支援教育充実事業」及び「通級指導教室」の巡回指導（2学期より）が、学びにくさや人との関わりづらさを感じる生徒に対しての支援の充実につながった。</p> <p>△特別支援コーディネーターを中心とした校内組織の機能化を図る中で、生徒の多様な強みや個性を尊重するため、より丁寧なアセスメントに基づいた生徒の学びやすさにつながる環境整備に努める。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>「特別支援教育充実事業」及び「通級指導教室」について、保護者にも理解できるよう情報発信することで更に理解がすすむのではないか。</li> <li>更に一人ひとりの実態に応じた支援を充実させた上での授業改善をすすめてほしい。</li> </ul>                          |
| 開かれた学校づくり     | <ul style="list-style-type: none"> <li>弥栄学園、PTA・学園運営協議会・地域の関係機関等との連携の推進</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>PTAや地域の人材や関係機関等とのつながりを活かした連携・協働体制の構築を推進する。</li> <li>地域人材を活用した学習活動を創意工夫し、丹後学のカリキュラムの見直しと充実を図る。</li> <li>教育活動や教育方針をHP・たより等で発信するなど保護者・地域への積極的な学校公開を行う。</li> </ul>           | <p>○運営協議会に加え、地域の関係機関に授業や行事を公開したことは、学校の取組に対する理解を深める貴重な機会となった。</p> <p>○△「総合的な学習の時間」において、多くの企業や地域の方々から多大なるご協力をいただいた。今後は、学校関係者と目標をより深く共有し、緊密な連携と協議を継続していく。</p> <p>△教育活動の状況だけでなく、その目標や目指す姿を保護者・地域へ発信していく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>たよりが地域に回覧されることで学校の様子がわかるが、更に丁寧に発信をすることで広く周知されるのでは。</li> <li>地域の人々や企業等から学ぶ取組は大変よい。生徒のプレゼン能力の向上を感じる。更に地域保護者・企業などと交流・連携を深めて、子どもの学びにつなげてほしい。</li> </ul> |
| 次年度に向けた改善の方向性 | <ol style="list-style-type: none"> <li>「探究的な学び」を手法として「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業研究の推進</li> <li>「自己調整」を図り自立・自律した学習者としての家庭学習の充実</li> <li>全ての教育活動において発達支持的生徒指導の推進をととした生徒にとって安心・安全な学校づくりの推進</li> <li>弥栄学園の組織を基盤とし、教育活動のねらいを共有した上での学校（学園）、保護者、地域、関係機関との協働・支援体制の構築。</li> </ol> |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・家庭・地域がともに協働して地域の子どもの育てていくこと大切である。</li> </ul>   |